

南伊勢高校度会校舎活性化計画

平成26年9月

南伊勢高校度会校舎活性化協議会

目 次

はじめに	1
1 南伊勢高校度会校舎の現状と課題	1
2 南伊勢高校度会校舎活性化の基本的な考え方	2
(1) 生徒・保護者の意向から	2
(2) 活性化に向けた組織体制	3
(3) 活性化計画の期間	3
3 活性化のための具体的な取組	4
(1) 進路支援プロジェクト	4
(2) 地域連携プロジェクト	5
(3) 通学支援プロジェクト	6
(4) 学校広報プロジェクト	6

資料

- 南伊勢高校度会校舎活性化協議会要綱（平成26年5月30日）
- 伊勢志摩地域の高校についてのアンケート
（平成24年度 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会）

はじめに

三重県立南伊勢高校度会校舎は、戦後間もない昭和23年に、地域の若者を育成する教育機関の設置を強く求める地域住民の要請を受け、三重県立明野高等学校内城田分校（定時制の農業科と家庭科）として、この度会の地に創立されました。

昭和49年には、三重県立度会高等学校（普通科）として独立し、一時は募集定員を225名としましたが、少子化により平成9年には80名、平成16年には度会郡内の南島高校・南勢高校と統合され3校舎制の南伊勢高校として新たに出発をしました。その後も少子化の進行により、南島校舎の募集停止や南勢校舎の定員縮小がなされ、現在の度会校舎（定員80名）・南勢校舎（定員40名）の2校舎制となりました。

創立以来、幾度かの変遷をたどりながらも、地域の高等学校として人材育成の一端を担ってきたことは言うまでもありません。

しかし、少子化は今後も進み、より深刻化を増します。また、学習ニーズが一層多様化するなど高等学校を取り巻く環境が大きく変化するなか、この「度会校舎で学びたい」という意欲をもった生徒を確保するためには、普通科としての強みを残しつつ、特色化、魅力化ならびに活性化を図ることが求められます。

活力ある教育活動と地域に開かれた信頼される学校づくりを進め、地域社会の人材育成や地域発展を図ることを目的とし、「南伊勢高校度会校舎活性化計画」を策定します。

1 南伊勢高校度会校舎の現状と課題

南伊勢高校度会校舎は、全日制課程・普通科として南勢校舎とともに、2校舎制をとっており、一学年の募集定員は80名です。平成26年度入学者数は64名（募集定員の80%）であり、近年では、このように募集定員を充足できない状態が続いています。

度会校舎へ入学する生徒は、度会中学校を卒業した町内在住の生徒のほか、伊勢市、玉城町、南伊勢町ならびに大紀町や明和町など、近隣市町からも多く見られます。平成26年度入学者の割合は、伊勢市内より38名（59.4%）、南伊勢町内より7

名（10.9%）、度会町より6名（9.4%）、玉城町内より6名（9.4%）、その他大紀町や明和町等より7名（10.9%）で、地域にありながらも町内中学校卒業者の入学希望が伸びていないことが、現状からうかがえます。

教育活動では、異校種間連携や地域交流行事など、地域の多様な主体と協働した取組や、ボランティア活動への積極的参加など、生徒が主体的に参画する実践型教育活動が多く取り入れられています。また、地域の自然や風土を活かした体験を通じて、南勢校舎との生徒交流も定期的に実施されています。

度会校舎卒業後の生徒の進路希望は、進学（専門学校を含む）と就職が同程度であり、小規模校として個々の希望に応じたきめ細やかな進路指導を行っています。各学年において、卒業後の進路について考える機会を数多くもち、早期から、それぞれ進路目標を実現できる力の育成に励んでいます。

一層幅広い生徒のニーズに対応できるよう、大学や短期大学への進学者支援や公務員希望者への専門的支援、また就職希望者のための求人開拓、資格取得支援など普通科高等学校ができ得る可能性を広め、生徒の進路希望の幅を拡充させることも、検討課題の一つであるといえます。

2 南伊勢高校度会校舎活性化の基本的な考え方

（1）生徒・保護者の意向から

平成24年10月、三重県教育委員会が設置する伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会が、伊勢志摩地域の中学生とその保護者を対象に、どんな高校へ進学したいか（どんな高校へ進学をすすめたいか）や、進学したい（進学させたい）学科についてたずねた「伊勢志摩地域の高校についてのアンケート」によると、生徒や保護者は、地域（地元）の中で学べることよりも、将来の進路についてじっくり考えることができる高校、進学したいという希望を実現できる高校、卒業後に役立つ知識や技術が学べ、色々な資格を取ることができる高校を求める割合が高いことがわかります。

また、学科別では「普通科」が最も多く、約4割を占めています。中学校卒業前には、将来の進路についてまだ具体視していない生徒や保護者が多く、高校在学中での

進路選択を見据え、将来に向けての学力や知識の定着、また広い進路選択肢を求めていることがわかります。

活性化計画の基本的な考え方として、生徒や保護者の意向を第一に考える必要があります。計画の基本軸として、将来の進路選択において生徒自らが広い可能性の中から、自己の希望を見出し、その実現に向けて積極的に支援することを掲げます。

(2) 活性化に向けた組織体制

度会校舎の魅力化・活性化に向けた取組方策の検討と活性化計画を策定する「南伊勢高校度会校舎活性化協議会」を地域代表、保護者代表、行政関係者および学校・教育関係者などの代表者から組織し、平成26年5月30日に設立しました。

なお、活性化に向けた実働組織として、「活性化推進委員会」を協議会の下に組織し、度会校舎教職員と連携しながら、具体的支援策を協議、実施します。

また、南伊勢高校南勢校舎活性化協議会（平成26年6月24日設立）とも連携しながら、同校の活性化に共に取り組んでいきます。

(3) 活性化計画の期間

南伊勢高校度会校舎活性化計画は、中期的な視野を持って取組を推進していくことから、4年間（平成26年度から平成29年度まで）の計画とします。

なお、南伊勢高校度会校舎の募集定員を含む学校の在り方等に変更が生じた際は、計画内容や計画期間について見直しを行うものとします。

3 活性化のための具体的な取組

(1) 進路支援プロジェクト

普通科高等学校として、生徒の進路希望の幅を拡充するとともに、進路実現に向けた具体的手立てへの支援を行います。

① 進学対策課外授業

大学・看護系等への進学希望者には、学校側が作成する進学対策プログラムによって、塾等の講師による「国語」「数学」「英語」等の進学対策課外授業を早期から実施します。

さらに、文系希望者には「社会」、理系希望者には「理科」の必要教科・科目の個別対応指導を進めます。

② 自己学習支援

生徒が自学自習できる学習室を整備するとともに、タブレット等情報通信機器を活用した自己学習が行える環境整備を支援します。

③ 基礎学力の定着

学び直しの機会の充実や、生徒の理解に即した授業改善に努め、自己目標の実現に向け、生徒が主体的に学ぶ姿勢を身に付けさせます。

④ 公務員支援

公務員を希望する生徒には、専門講師招聘による対策講座を実施し、傾向と対策についての個別学習を支援します。

希望者は、度会町役場等でのインターンシップを実施することで、卒業後の進路イメージを膨らませるとともに、進路実現に向けてのモチベーションを高めます。

⑤ 資格取得の促進

普通科でありながら商業科目も開設している利点を生かし、希望者の商業関連資格の取得や、国語科、英語科、理科における資格取得を促進します。

⑥ キャリア教育

働くことへの意識を深めるとともに、進路目標を具体的に持たせるため、身近な存在である卒業生や地域で働く方と接する機会をつくります。

また、個別面談による早期からの意識づけや、挨拶を基盤としたコミュニケーション能力の向上を図ります。

⑦ 就職後ケア・求人開拓

新卒業生の就職先事業所を訪問するなどして、就職後のケアや早期離職の防止に努め、事業所との関係づくりや新たな求人枠の拡張に努めます。

度会町内においては、度会町商工会等の協力の下、連携して求人開拓に努めます。

(2) 地域連携プロジェクト

度会町の地域性を活かした郷土学習や体験学習を通じ、生徒らが主体的に考え、行動する力を育成するとともに、度会町への愛着、愛郷心を育むことで、豊かな学校生活を送り、延いては地域全体の活力を高めます。

① 地域学習支援

度会町地域資源を守る会等の協力の下、度会町の史跡巡りや自然・歴史の学習を通じて、度会町の良さを知り、地域の中心となって地域交流行事に参加します。若者の観点から、町観光事業への提案等も積極的に求めていきます。また、従来から実施している茶摘み体験のほか、農業や林業に着目した体験学習も支援します。

福祉職への進路希望を持つ生徒には、度会町社会福祉協議会等の協力の下、地域の福祉施設を利用した実習を支援します。

② ボランティア活動支援

高校生の若い活力を地域の様々な活動の場で発揮し、地域の活性化に貢献する生徒を育むため、生徒がボランティア等で活動できる機会を積極的に提供し、支援します。

③ 施設の利用

従来から実施されている学校図書館の地域開放に加え、小中学生のスポーツ活動や異校種交流事業等の機会を活用し、小・中学生らが度会校舎へ来校する機会を増やすことで、度会校舎への愛着心を育みます。

スポーツ活動においては、有名選手や指導者を招聘するなど、小中高の児童生徒が合同でスポーツを楽しみ、体力向上に努める機会をつくります。

(3) 通学支援プロジェクト

度会校舎への通学は、徒歩や自転車、路線バスの利用が見られます。近隣市町から路線バスを利用して通学する生徒には、路線の関係上、途中で自転車に乗り換えて通学する区域の生徒も見られます。

町外生徒の進学者希望を多く募るには、通学問題も大きな課題の一つとして、今後検討を進めます。

(4) 学校広報プロジェクト

度会校舎への理解を深めるため、中学生、保護者ならびに地域住民への広報活動を実施します。

進学先を決める中学生やその保護者は、学校説明会や高校生活入門講座（オープンスクール）、また県教育委員会ホームページの県立高等学校案内等から各学校の情報を得ることができます。進学先の候補となるには、度会校舎の良さを広くアピールし、興味・関心をもってもらうことが第一です。また、「2(1) 生徒・保護者の意向から」でもわかるように、生徒や保護者が求めている情報を具体的に示し、丁寧な進路指導の現状や、少人数の環境だからこそ育まれる関係性をしっかり伝えていきます。

① 出前授業

度会校舎教職員による出前授業を各中学校で実施することにより、中学生やその保護者に度会校舎への理解を深めてもらうとともに、親しみをもってもらおう。

② 度会中学校との交流

近隣市町への働きかけも重要ですが、度会中学校の生徒、保護者また教職員とは学校行事や部活動等の教育活動を通じた相互交流を行います。

③ 広報活動

学校の取組や生徒らの活動をより多くの方に知ってもらうため、学校ホームページの更新や生徒会誌の活用を図ります。また、近隣中学校や学習塾への個別訪問を積極的に行います。

度会町広報紙や町ホームページ等においても、小・中学生との交流の様子を伝え、地域住民への広報活動に努めます。

資料

○南伊勢高校学生会校舎活性化協議会要綱（平成26年5月30日）

○伊勢志摩地域の高校についてのアンケート

（平成24年度 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会）

南伊勢高校度会校舎活性化協議会要綱

(設立趣旨)

少子化が進展するなかで、南勢地域の中学生が「度会校舎で学びたい」と思える高等学校にしていくため、度会校舎の特色化・魅力化・活性化を図ることが求められています。

県立の普通科高校として、特色化を図るためには、生徒が希望する卒業後の進路に進めるよう、基礎学力の向上を図るとともに、個々の生徒の希望に合わせて、きめ細かな進路指導や進学・就職のサポートを充実させ、生徒の希望通りの進路を実現していくことが、大きな魅力・特色になるものと思われれます。

きめ細かな進路指導や進学・就職のサポートを充実させるためには、度会校舎の教職員のみではなく、地域の行政、企業、住民が度会校舎の教職員と協働し、生徒の学習支援、インターンシップ支援、地域教育支援などに積極的に取り組まなければなりません。

そのために、度会校舎支援の取組方策の具体的計画の策定と実働組織の編成などを協議する、南伊勢高校度会校舎活性化協議会（仮称）を設立し、地域と学校が協働して度会校舎の教育の一層の充実と活性化を図り、地域に開かれた信頼される学校づくりを進め、地域社会の人材育成を行い、地域の発展や活性化を図ることを目的とする。

(基本方針)

南伊勢高校度会校舎活性化協議会は、次に掲げる事項について協議し、度会校舎に対し必要な支援・協力を行うものとする。

- ・ 度会校舎の魅力化・活性化に関すること
度会校舎と連携し、地域として生徒の進学や就職など進路指導の充実にかかる学校の取組の支援・協力を行う
- ・ 地域と度会校舎との連携に関すること
学校が提案する「地域と学校の連携計画」について協議し、地域として福祉活動、ボランティア活動等地域全体を教室として生徒を育成する取組の支援・協力を行う
- ・ そのほか目的達成のため必要となる支援・協力を行う

(組織)

南伊勢高校度会校舎活性化協議会とその下に実働組織として活性化推進委員会を設置する。

活性化協議会は、下記委員25名以内で構成し、若干数の顧問を置くことができる。

活性化推進委員会は、活性化協議会委員のうちから10名以内で構成する。

(活性化協議会委員)

委員の任期は、平成27年3月31日までとする。

行政関係 町長・副町長・総務課長・産業振興課長

教育関係 教育長・度会中学校長・進路指導教諭・度会郡指導主事

議会関係 議長が指名する議会代表委員2名

商工関係 町商工会事務局長

団体代表 社会福祉協議会事務局長・総合スポーツクラブ会長

地域代表 廣幸昭ワーキング委員・山川前度会校舎准校長・地域資源を守る会橋本会長

保護者関係 度会校舎PTA会長・度会中学校PTA会長

度会校舎関係 校長・准校長・すいしん委員会代表教諭

その他顧問 吉川県議会議員・村林県議会議員・その他

(活性化協議会)

協議会に会長1名、副会長1名を置き、会長には度会町長をもって充て、副会長には、地域代表委員のうち1名を持って充てる。

活性化協議会の事務は、教育委員会事務局が当たる。

会議は、会長が招集し、副会長が議長となる。

協議会は、度会校舎の活性化についての計画案を決定し、その実施を推進委員会に命じ、推進委員会からの実施状況の報告及び実績報告を受けるものとする。

(推進委員会)

委員会に委員長1名、副委員長1名を置き、委員長には南伊勢高校校長をもって充て、副委員長には、地域代表委員の中から活性化協議会会長が選任する。

委員会の事務は、教育委員会事務局が当たる。

会議は、推進委員会委員長が招集し、議長となる。

委員会は、活性化協議会が策定した計画案を実施し、その実現に努めるものとする。

[中学生のみなさんへ]

伊勢志摩地域の高校についてのアンケート

伊勢志摩地域の中学生のみなさんへ（お願い）

平成24年10月
伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会

みなさんが住んでいる伊勢志摩地域では、中学校を卒業する生徒の数が年々少なくなっています。そのため、教育関係者や保護者、地元関係者からなる伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会が設置され、これから高校に進学するみなさんが、より良い学習環境で学ぶことができるように話し合いをしています。その話し合いの参考にするため、中学生のみなさんがどのような高校に進学したいと思っているかをお聞きするアンケートを実施することにしました。ご協力をお願いします。

- あなたが住んでいる市町名を次の①～⑦の中から選び、○で囲んでください。
① 伊勢市 ② 鳥羽市 ③ 志摩市 ④ 玉城町 ⑤ 度会町
⑥ 大紀町 ⑦ 南伊勢町
- あなたが在籍している学年を次の①～②の中から選び、○で囲んでください。
① 1年生 ② 2年生
- あなたが高校に進学するとしたら、どんな高校に進学したいと思いますか。次の①～⑬の中から、あなたが進学したい高校として、よくあてはまると思うものを3つ以内で選び、その記号を○で囲んでください。「⑬ その他」を選んだ場合は、() 内にくわしい内容を書いてください。
① 大学・短期大学・専門学校などに進学したいという希望を実現できる高校
② 高校卒業後に役立つ知識や技術が学べ、色々な資格を取ることができる高校
③ 自分の将来や進路についてじっくりと考えることができる高校
④ 自分の興味や関心、能力に応じた授業を受けられることができる高校
⑤ 就業体験学習や実習を伴う体験的な学習を中心に学ぶことができる高校
⑥ 地域（地元）の中で学べる高校
⑦ 学校の雰囲気が高く落ち着いて勉強できる高校
⑧ 文化祭や体育祭などの学校行事が活発な高校
⑨ 部活動が活発な高校
⑩ 通学するのが便利な高校
⑪ 通学する費用がより少ない高校
⑫ 未定
⑬ その他（)

裏面につづく→

4 高校は学ぶ内容によって、次のように3つに分けることができます。これらの3つの高校のうち、あなたが高校へ進学するとしたら、どの高校に進学したいですか。現時点の考えを下から一つ選び、記号を○で囲んでください。

なお、「⑳ 専門学科の高校」を選んだ場合は、希望する学科を一つ選び、㉑～㉔の記号を○で囲んでください。

⑩ 普通科の高校・・・中学校で学んだ国語や数学などの「普通教科」の学習を深める高校です。

㉑ 専門学科の高校・・・農業・工業・商業・水産などの職業に関する専門的なことを学習する高校です。

㉑ 農業 ㉒ 工業 ㉓ 商業 ㉔ 水産 ㉕ 家庭 ㉖ 看護 ㉗ 情報
㉘ 福祉 ㉙ 未定

㉚ 総合学科の高校・・・いろいろな選択科目の中から、自分の興味や将来なりたい職業を考えて授業を選ぶことができる高校です。

㉛ 未定

5 あなたは高校へ進学するとしたら、「どんなことを学びたい」、「どんなことに取り組みたい」と思っていますか。また、「どんな高校へ進学したい」と思っていますか。自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。

[保護者のみなさんへ]

伊勢志摩地域の高校についてのアンケート

伊勢志摩地域の中学生の保護者のみなさんへ（お願い）

平成24年10月

伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会

伊勢志摩地域では、中学校卒業生数が減少しており、今後もその傾向が続くと予測されています。（※参考を参照）このことにより、当地域の県立高校の再編や統廃合を検討しなければならない状況となっており、それぞれの高校のさらなる魅力化・特色化を進める必要があります。

このため、伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会（有識者、PTAの代表、市町や県の教育関係者等により構成）では、当地域の高校に進学する中学生が将来にわたってより良い学習環境で学ぶことができるよう、地域の高校のあり方について協議を行っています。その協議の参考とするために、中学生の保護者のみなさんのご意見を伺いたいと考え、アンケートを実施することにしました。ご協力をお願いします。

なお、お子さんが中学校に2人以上在籍され、このアンケートを2枚以上受け取られた場合は、いずれかのお子さんを通じ、回答済みアンケートを1枚ご提出いただければ結構です。

- あなたが住んでいる市町名を次の①～⑦の中から選び、○で囲んでください。
① 伊勢市 ② 鳥羽市 ③ 志摩市 ④ 玉城町 ⑤ 度会町
⑥ 大紀町 ⑦ 南伊勢町
- あなたのお子さんが在籍している学年を①～②の中から選び、○で囲んでください。
① 1年生 ② 2年生
- あなたのお子さんが高校へ進学するとしたら、どんな高校への進学をすすめたいと思いますか。次の①～⑬の中から、よくあてはまると思うものを3つ以内で選び、その記号を○で囲んでください。「⑬ その他」を選んだ場合は、()内に詳しい内容をご記入ください。
① 大学・短期大学・専門学校などへの進学希望を実現できる高校
② 高校卒業後に役立つ知識や技術が学べ、色々な資格取得ができる高校
③ 将来や進路についてじっくりと考えることができる高校
④ 興味や関心、能力に応じた授業を受けることができる高校
⑤ 就業体験学習や実習を伴う体験的な学習を中心に学ぶことができる高校
⑥ 地域（地元）の中で学べる高校
⑦ 学校の雰囲気が良く落ち着いて勉強できる高校
⑧ 文化祭や体育祭などの学校行事が活発な高校
⑨ 部活動が活発な高校
⑩ 通学するのが便利な高校
⑪ 通学する費用がより少ない高校
⑫ 未定
⑬ その他 ()

裏面につづく→

※参考

三重県教育委員会は当地域の中学校卒業生数を次のように予測しています。

○平成27年3月の卒業生数（現中学校1年生）

2,307人（平成24年3月比 251人減）

伊勢市（平成24年3月比 62人減） 度会郡（平成24年3月比 63人減）

鳥羽市（平成24年3月比 29人減） 志摩市（平成24年3月比 97人減）

○平成33年3月の卒業生数（現小学校1年生）

1,852人（平成24年3月比 706人減）

伊勢市（平成24年3月比 234人減） 度会郡（平成24年3月比 173人減）

鳥羽市（平成24年3月比 60人減） 志摩市（平成24年3月比 239人減）

4 高校は、学ぶ内容によって、次のように3種類の高校（※1を参照）に分けることができます。あなたのお子さんが高校へ進学するとしたら、これらの3種類の高校のうち、どの高校への進学をすすめたいと思いますか。現時点のお考えを下から一つ選び、記号を○で囲んでください。

なお、「㉔ 専門学科の高校」を選んだ場合は、希望する学科を一つ選び、㉑～㉓の記号を○で囲んでください。

㉑ 普通科の高校・・・中学校で学んだ国語や数学などの「普通教科」の学習を深める高校です。

㉒ 専門学科の高校・・・農業・工業・商業・水産などの職業に関する専門的なことを学習する高校です。

㉑ 農業 ㉒ 工業 ㉓ 商業 ㉔ 水産 ㉕ 家庭 ㉖ 看護 ㉗ 情報
㉘ 福祉 ㉙ 未定

㉚ 総合学科の高校・・・いろいろな選択科目の中から、自分の興味や将来なりたい職業を考えて授業を選ぶことができる高校です。

㉛ 未定

5 あなたのお子さんが高校へ進学するとしたら、高校で「どのような力を身につけてほしい」、「どんなことに取り組んでほしい」と思っていますか。また、「どんな高校への進学をすすめたい」と思っていますか。自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。

※1 各学科の詳細については、以下のWebページでご覧になることができます。
○「三重県立高等学校案内」 → <http://www.mie-c.ed.jp/rainbow/index.html>

※2 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会の開催案内・会議結果及びこれまでの「協議のまとめ」等については、三重県教育委員会のWebページでお知らせしています。

○開催案内・会議結果

→ http://www.pref.mie.lg.jp/kyoiku/hp/kyo_so/shingi/shiic.htm

○これまでの「協議のまとめ」等

→ <http://www.pref.mie.lg.jp/KYOKAI/HP/soihen/tiiki.htm>

※3 アンケート及び伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会についての問い合わせ先

○協議会事務局：三重県教育委員会事務局 教育総務課 教育改革グループ

TEL：059-224-2951 FAX：059-224-2319

伊勢志摩地域の高校についてのアンケート 調査集計

【伊勢志摩地域全体版】

		在籍数(人)	回答数(人)	回答率
伊勢市	中学生	2,360	2,277	96.5%
	保護者	2,360	1,891	80.1%
鳥羽市	中学生	397	394	99.2%
	保護者	397	300	75.6%
志摩市	中学生	987	961	97.4%
	保護者	987	874	88.6%
度会郡	中学生	886	835	94.2%
	保護者	886	693	78.2%
計	中学生	4,630	4,467	96.5%
	保護者	4,630	3,758	81.2%

- 調査対象
伊勢志摩地域の中学校等に在籍する1年生・2年生とその保護者
- 調査実施期間
平成24年11月
- 回答率(伊勢志摩地域全体)
中学生 96.5%
保護者 81.2%
- 割合については、四捨五入の関係から、合計が100%にならないことがある。

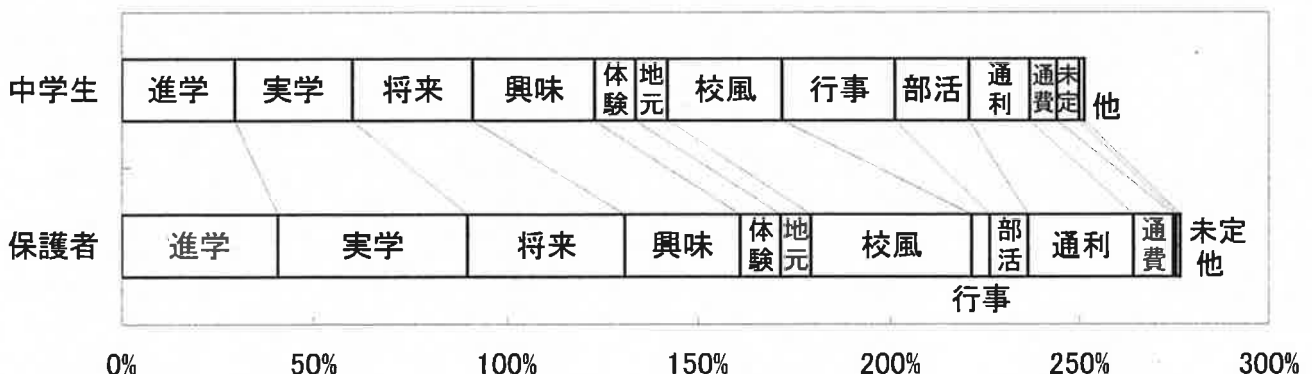
問1(居住地)と問2(在籍学年)は省略

問3 進学したい/進学をすすめたい高校の特色について

問3	中学生	あなたが高校に進学するとしたら、どんな高校に進学したいと思いますか。次の①～⑬の中から、あなたが進学したい高校として、よくあてはまると思うものを3つ以内で選び、その記号を○で囲んでください。「⑬その他」を選んだ場合は、()内にくわしい内容を書いてください。
	保護者	あなたのお子さんが高校へ進学するとしたら、どんな高校への進学をすすめたいと思いますか。次の①～⑬の中から、よくあてはまると思うものを3つ以内で選び、その記号を○で囲んでください。「⑬その他」を選んだ場合は、()内に詳しい内容をご記入ください。
進学	① 大学・短期大学・専門学校などに進学したいという希望を実現できる高校	
実学	② 高校卒業後に役立つ知識や技術が学べ、色々な資格を取ることができる高校	
将来	③ 自分の将来や進路についてじっくりと考えることができる高校	
興味	④ 自分の興味や関心、能力に応じた授業を受けることができる高校	
体験	⑤ 就業体験学習や実習を伴う体験的な学習を中心に学ぶことができる高校	
地元	⑥ 地域(地元)の中で学べる高校	
校風	⑦ 学校の雰囲気良く落ち着いて勉強できる高校	
行事	⑧ 文化祭や体育祭などの学校行事が活発な高校	
部活	⑨ 部活動が活発な高校	
通利	⑩ 通学するのが便利な高校	
通費	⑪ 通学する費用がより少ない高校	
未定	⑫ 未定	
他	⑬ その他() ※上記①～⑬は中学生用アンケートでの選択肢の表現	

問3		回答者	進学	実学	将来	興味	体験	地元	校風	行事	部活	通利	通費	未定	他	
%	地域全体	中学生	4,467	29%	31%	31%	32%	11%	8%	30%	29%	19%	16%	7%	6%	1%
		保護者	3,758	41%	49%	41%	30%	11%	8%	42%	5%	10%	28%	10%	1%	1%
数	地域全体	中学生	4,467	1,314	1,366	1,388	1,433	480	376	1,325	1,307	867	719	325	262	65
		保護者	3,758	1,527	1,844	1,553	1,128	395	288	1,582	179	382	1,053	394	31	40

問3 進学したい/進学をすすめたい高校の特色について【伊勢志摩地域全体】



「3つ以内で選び」の回答結果

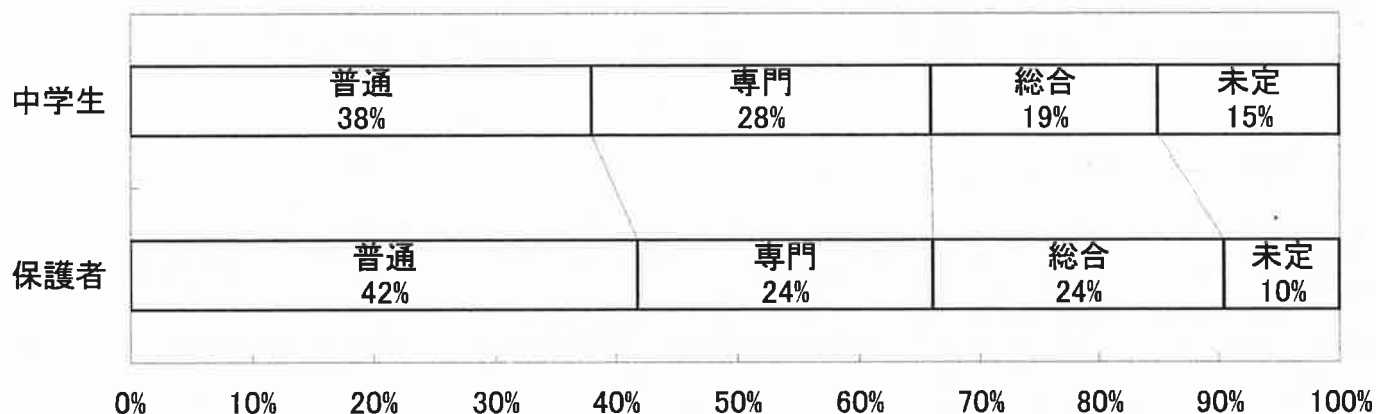
①～⑬の各回答総数を、それぞれの回答者数(中学生4,467人・保護者3,758人)で割った割合を示す。

問4 進学したい/進学をすすめたい学科について

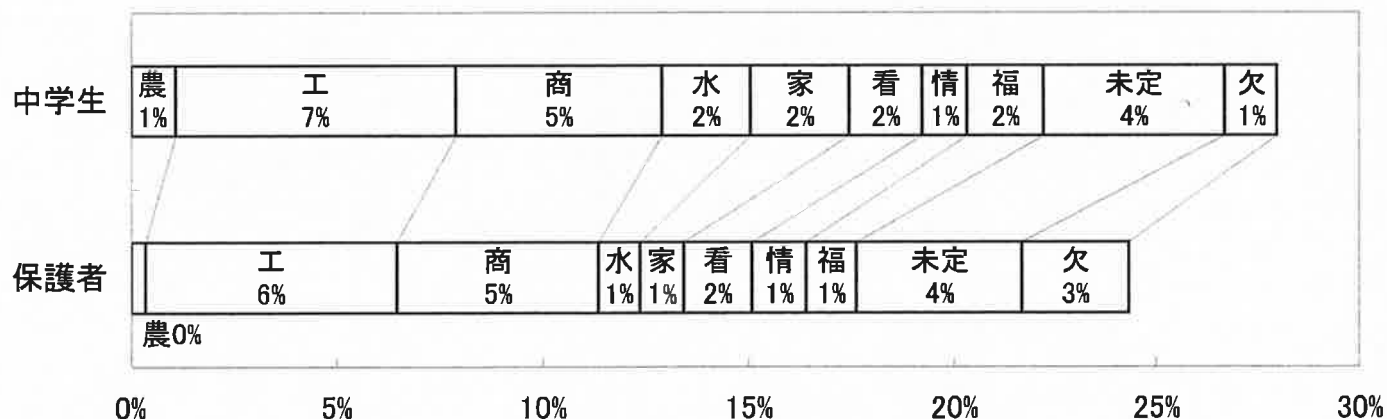
問4	中学生	高校は学ぶ内容によって、次のように3つに分けることができます。これら3つの高校のうち、あなたが高校へ進学するとしたら、どの高校に進学したいですか。現時点の考えを下から1つ選び、記号を○で囲んでください。 なお、「20専門学科の高校」を選んだ場合は、希望する学科を一つ選び、21～29の記号を○で囲んでください。
	保護者	高校は学ぶ内容によって、次のように3種類の高校に分けることができます。あなたのお子さんが高校へ進学するとしたら、これらの3種類の高校のうち、どの高校への進学をすすめたいと思いますか。現時点のお考えを下から1つ選び、記号を○で囲んでください。 なお、「20専門学科の高校」を選んだ場合は、希望する学科を一つ選び、21～29の記号を○で囲んでください。
普通	10	普通科の高校……中学校で学んだ国語や数学などの「普通教科」の学習を深める高校です。
専門	20	専門学科の高校…農業・工業・商業・水産などの職業に関する専門的なことを学習する高校です。 21農業 22工業 23商業 24水産 25家庭 26看護 27情報 28福祉 29未定
総合	30	総合学科の高校……いろいろな選択科目の中から、自分の興味や将来なりたい職業を考えて授業を選ぶことができる高校です。
未定	40	未定

問4			回答者	普通	専門	総合	未定	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	福祉	未定	欠損
%	地域全体	中学生	4,383	38%	28%	19%	15%	1%	7%	5%	2%	2%	2%	1%	2%	4%	1%
		保護者	3,644	42%	24%	24%	10%	0%	6%	5%	1%	1%	2%	1%	1%	4%	3%
数	地域全体	中学生	4,383	1,665	1,226	832	660	47	298	221	94	105	78	48	83	196	56
		保護者	3,644	1,522	887	886	349	13	222	179	37	39	60	48	44	148	97

問4 進学したい/進学をすすめたい学科について 【伊勢志摩地域全体】



問4 回答20「専門学科(中学生28%・保護者24%)」の内訳について【伊勢志摩地域全体】



回答20「専門学科」の内訳については、21～29のうちどれも選ばない回答があるため、欠損が発生する。

地域と進学したい学科との相関
(中学生の問1回答と問4回答との相関・クロス集計)

地域全体	普通科 37.3%	専門学科 27.4%	総合学科 18.6%	未定 14.8%	欠損 1.9%
伊勢市	普通科 39.4%	専門学科 26.4%	総合学科 17.5%	未定 15.0%	欠損 1.8%
鳥羽市	普通科 26.6%	専門学科 31.5%	総合学科 29.4%	未定 10.7%	欠損 1.8%
志摩市	普通科 36.3%	専門学科 28.5%	総合学科 19.9%	未定 13.4%	欠損 1.9%
度会郡	普通科 37.6%	専門学科 27.2%	総合学科 15.2%	未定 17.7%	欠損 2.3%

0%

20%

40%

60%

80%

100%

進学したい高校の特色と学科との相関
(中学生の問3回答と問4回答との相関・クロス集計)

①進学実現	普通科	54.5%	専門学科	21.8%	総合学科	16.1%	未定	7.0%	欠損	0.5%
	普通科	27.5%	専門学科	40.5%	総合学科	19.6%	未定	11.1%	欠損	1.3%
③将来じっくり	普通科	45.7%	専門学科	22.6%	総合学科	19.4%	未定	10.8%	欠損	1.6%
	普通科	26.6%	専門学科	29.4%	総合学科	30.1%	未定	12.6%	欠損	1.3%
⑥地元	普通科	43.9%	専門学科	27.9%	総合学科	14.4%	未定	11.4%	欠損	2.4%
	普通科	42.7%	専門学科	24.2%	総合学科	15.2%	未定	16.4%	欠損	1.5%
⑩通学利便										
		0%	20%	40%	60%	80%	100%			

「伊勢志摩地域の高校についてのアンケート」自由記述部分の概要 **中学生**

5 あなたは高校へ進学するとしたら、「どんなことを学びたい」、「どんなことに取り組みたい」と思っていますか。また、「どんな高校へ進学したい」と思っていますか。自由に書いてください。

○ 自由記述部分に記入した中学生徒数：3, 193人／有効回答4, 467人
(自由記入率71.5%)

○ 記入内容の大別(※但し、重複記入)

1. 学習内容やカリキュラムについて書いた生徒数・・・1, 045人／3, 193人
(33%)

例) 農業, 商業, 工業に行きたい, 英語を学びたい, 普通科, 機械科で勉強したい, 美容, 服飾, インテリア, 料理, デザイン, パソコンのことを学びたい, 等々
「資格がとれる高校がよい」(“何の資格か”は、ほとんど書かれていない) など
→うち、具体的な“なりたい職業”も書いた生徒数・・・177人／同(6%)
例) 教師, 美容師, パティシエ, デザイナー, トリマー, 保育士, 看護師, 家業 など

2. 学ぶ環境について書いた生徒数・・・・・・・・・・・・・・・・768人／同(24%)

例) いじめのない, 生き生きとした, 学びやすい, 雰囲気が良い, 友人関係が良い, 荒れていない, 真面目に積極的に学べる, いい先生がいる, 家から近い, 学費が安い, 制服がかわいい, バイトができる, 単位のとりやすい, あまり授業がきつくない など

3. 部活動、学校行事(文化祭、体育祭等)について書いた生徒数・724人／同(16%)

例) 「部活動をしっかりやりたい」、「学校行事が活発な高校がよい」、「(〇〇〇高で) サッカー、野球、ブラスバンド 等々・・・をやりたい」 など

4. 将来について書いた生徒数・・・・・・・・・・・・・・・・462人／同(15%)

大半) 「自分の将来のために役立つ学習等ができる高校がよい」、
「将来のことを考えられるための高校生活にしたい」 など
※具体的に“どんな将来か”は書かれていない。

5. 就職について書いた生徒数・・・・・・・・・・・・・・・・296人／同(9%)

大半) 「就職に役立つ学習、勉強ができる学校がよい」、
「確実に就職にむすびつく学校へ行きたい」 など

6. 大学進学について書いた生徒数・・・・・・・・・・・・・・・・265人／同(8%)

大半) 「(行きたい、あるいは、行ける) 大学にしっかり進学できる高校がよい」

7. 進路希望として具体的な高校名を書いた生徒数・・・・・・・・241人／同(8%)

地域内の高校が多いが、他地域、他府県の高校も若干あり。

8. 専門学校進学について書いた生徒数・・・・・・・・・・・・41人／同(1%)

大半) 「行きたい専門学校に行ける高校がよい」

「伊勢志摩地域の高校についてのアンケート」の自由記述部分の概要 **保護者**

5 あなたのお子さんが高校へ進学するとしたら、高校で「どんな力を身につけてほしい」、「どんなことに取り組んでほしい」と思っていますか。また、「どんな高校への進学をすすめたい」と思っていますか。自由に書いてください。

○ 自由記述部分に記入した保護者数：1, 875人／有効回答3, 758人
(自由記入率49.9%)

○ 記入内容の大別（※但し、重複記入）

1. 学ぶ環境について書いた保護者数・・・435人／1, 875人（23%）

例) いじめや暴力のない、真剣に学べる、良い校風、雰囲気がよい、良い友達ができる、良い教師がいる、さまざまな体験ができる、将来をじっくり考えることができる、入学後の進路（進学、就職）が柔軟に変更できる、家から通学できる、通学が便利、学費や交通費が安い など

2. 就職や資格取得について書いた保護者数・・・380人／同（20%）

3. 学力や知識、技能について書いた保護者数・・・320人／同（17%）

例) しっかり勉強に取り組んでほしい、学力を身につけてほしい など

4. 将来、生きていくうえで必要な力について書いた保護者数

・・・194人／同（10%）

例) 自活できる力、生きる力、社会に出て役立つ力、たくましく生きていく力 など

5. 部活動について書いた保護者数・・・181人／同（10%）

6. 大学進学について書いた保護者数・・・170人／同（9%）

7. 自ら考え行動する力について書いた保護者数・・・149人／同（8%）

例) 自立してほしい、目標をもってほしい、自分で判断して取り組んでほしい など

8. コミュニケーション力について書いた保護者数・・・113人／同（6%）

例) 友達とのコミュニケーション、自分を表現する力 など

9. 我慢強く最後までやり遂げる力について書いた保護者数

・・・111人／同（6%）

例) 忍耐力、最後まであきらめない力、継続する力 など

10. 協調性について書いた保護者数 81人/同 (4%)

例) 仲間を思いやる気持ち、チームワークを大切にする、良い人間関係を築く など

11. 意欲的に取り組むことについて書いた保護者数 . . . 80人/同 (4%)

例) 積極的にチャレンジしてほしい、意欲的に学んでほしい など

12. 規律やモラル、マナーについて書いた保護者数 . . . 75人/同 (4%)

13. 常識や教養について書いた保護者数 65人/同 (4%)